

植樹式 2021



時の蘇生・柿の木プロジェクト

目次

2023年更新

4月10日		バリアーノ小学校の庭 1 イタリア・ベルガモ県
4月17日		クンペン・ラマ・ガンチェン 2 イタリア・カゼルタ県・アルパニャーノ（ヴェルバーニア市）
7月24日		植樹20周年祭 3 システュード自然公園（フランス・ポルドー）
11月14日		記念公園（トルツカ・パーク） 4 イタリア・ベルガモ市

バリアー/小学校の庭

 イタリア

 ベルガモ県

 2021年4月10日

この式典は2020年に予定されていましたが、COVID 19のパンデミックの発生を考慮し、延期されました。猛威を振るうパンデミックにより、プロジェクトのクリエイターを代表するごく少数の人々の出席のもと、縮小されたセレモニーで植樹を行うことになりました。

ベルガモ地区下部の町長アンドレア・ロータ氏は、「できるだけ早く、この木の周りで子供たちも参加する大きなパーティーを開く」とスピーチし、この平和のシンボルの到着を許可したすべてのボランティアに感謝しました。

ツリーの周りに吊るされた、さまざまなクラスから提案された多くの作品。予定では、2022年の柿の誕生日に、このパンデミックが解消されることを期待しています。



カンペン・ラマ・ガンチェン

🇮🇹 イタリア

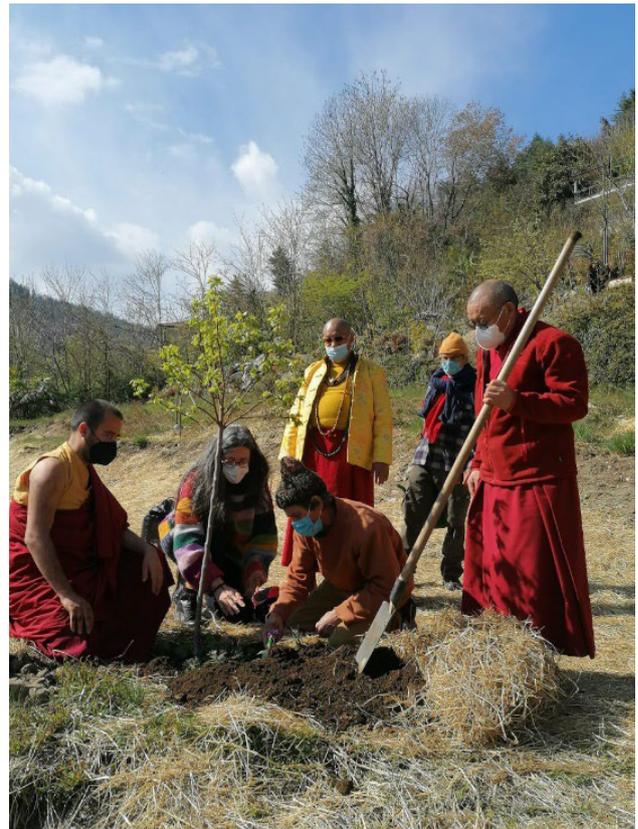
📍 カゼルタ県・アルバニャーノ・ヴェルバーニア市

🌱 2021年4月17日

この式典は、すでにベルガモ地域で式典を開催していたパートナーのフラビア・ミレージによって企画されました。彼女は、アルバニャーノ・チベット仏教センターに、チンレー・ヤーペル・ラマ・シュレストタ（1941年7月7日-2020年4月18日）の本名であるラマ・ガンチェン・ツルク・リンポチェを記念するために木を植えることを提案しました。彼は、旧チベットの最新のラマの1人であり、最も重要な仏教の指導者の1人でした。

「内なる平和こそが、世界に平和をもたらす最も堅固な基盤である。」これは彼の最も重要な教えの1つです。精神的な指導者やライフマスターとして認められ、称賛され、彼は世界中の仏教徒だけでなく、何万人もの人々にとって教えとなり続けるでしょう。

式典は、大きな平和の精神とともに非常に簡素に行われ、2018年以來アルバニャーノ癒しの瞑想センターの天地の寺院の設計と建設を担当しているラマ・ミシェル・リンポチェによって指導されました。



システュード植樹 20 周年祭 システュード自然公園

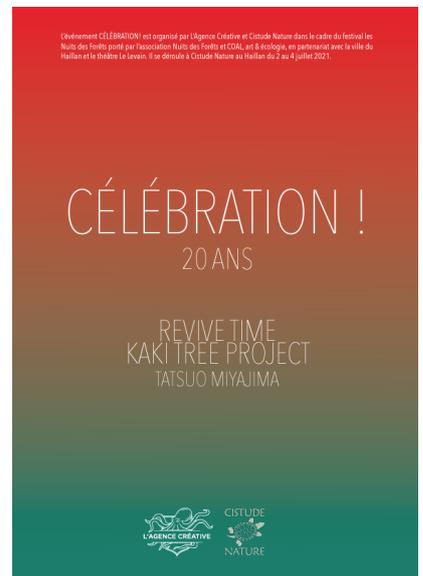
フランス

ボルドー

2021年7月24日

2021年7月2日、3日、4日にフランス・ボルドー、システュード自然公園にて、植樹20周年祭が開催されました。システュード自然公園の「被爆柿の木2世」は、1999年3月21日に植樹されており、元気に大きく育っています。

20周年祭は、7月2日に参加者と植物の世界の発見をするための公園ツアーからはじまり、3日と4日は、柿の木の20周年を祝うたくさんのアーティストによるワークショップやパフォーマンスが実施されました。



記念公園（トルッカ・パーク）

 イタリア
 ベルガモ市
 2021年11月14日



KAKI TREE EUROPE の役員会は、COVID-19 によってベルガモ地域で亡くなった数千人の人々の記憶のために看板を立てたいと考えた。

イタリアでパンデミック拡大の最も重要な拠点であった PAPA GIOVANNI XXIII 病院の目の前にある Parco della Memoria に、Marzia Marchesi 議員を通じて非常に親密な関係にあるベルガモ市は、この公園を開設し、様々な植物を植え、このウイ

ルスで亡くなった人々を一人一人追悼しました。

私たちは長崎から被爆柿の木 2 世を持参し、マルツィア・マルケージ議員と、私たちの式典にいつも出席して下さるブレーシアのミリアム・コミネッリ議員の立会いのもと、植樹を行いました。ブレーシアのミリアム・コミネッリ議員の出席は、ブレーシアで COVID-19 ウイルスによって多くの人が亡くなっているという事実にも起因している。

式典には、KAKI TREE EUROPE 理事会に加え、ベルガモ地区で私たちとともに柿の木の植樹活動を行っている団体の代表者も出席した。雨の降る朝でしたが、2020 年と 2021 年に悲劇的な死を遂げた人々の記憶に残る、とても重要で感動的なセレモニーとなりました。

